



OPUS 分光分析ソフトウェア

A.I.D. 自律型組成識別ツール

「探す」から「見つける」へ。

A.I.D. とは？

A.I.D. (Autonomous Composition Identifier) は、赤外およびラマンスペクトルの解析に革新をもたらす新発想の解析ツールです。高度な機械学習技術を活用することで、複雑なスペクトルの迅速かつ正確な定性解析を実現します。直感的な操作性と驚異的なスピードで、未知試料の化学組成に関する貴重な知見を提供します。

A.I.D. で何ができる？

A.I.D. は、赤外およびラマンスペクトルの標準検索ツールとして構築されています。測定スペクトルをライブラリデータと照合し、単一成分の参照スペクトル、あるいは複数の参照スペクトルを組み合わせた「混合物スペクトル」の中から、最適な候補をわずか数秒で導き出します。数万件に及ぶ大量のライブラリデータを用いた解析も、スピーディーに完了します。

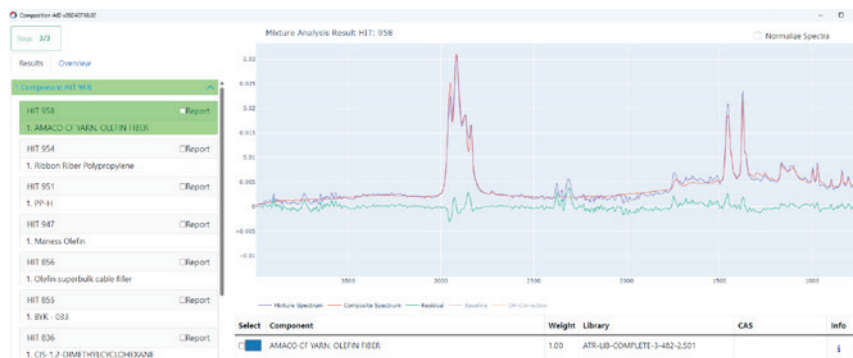


図 1

A.I.D. 解析結果。試料のスペクトル（青）を、参照スペクトル（赤）が明確に説明。差スペクトル（緑）には、説明を要する顕著なピークが残っていないことを示しています。



図 2
A.I.D. による多成分試料の解析結果の画面。左：OPUS、右：OPUSTOUCH。異なる成分構成とそれぞれのマッチング精度を視覚的に確認可能です。

A.I.D. の適用範囲は？

A.I.D. のゴールは、ブルカーの赤外・ラマン分光計および顕微鏡で取得したあらゆるデータとシームレスに連携することです。A.I.D. は、故障解析、法医学、リバースエンジニアリングなど、精度と信頼性が求められる分野で、スマートなアシスタントとして活躍します。A.I.D. が客観的に最も妥当と判断した結果「推奨ベストマッチ」を提供する一方、ユーザーはその他の候補をレビューし、結果の見直しや分析を再調整することも可能です。

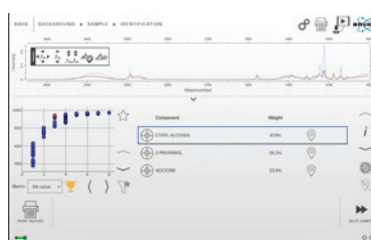


図 3
A.I.D. によるラマンスペクトル解析結果（左）と OPUS TOUCH の「フィット確認」インターフェース（右）により、詳細な結果評価が行えます。

A.I.D. に対応するシステムは？

A.I.D. は、すべてのブルカーの赤外・ラマン分光計および顕微鏡に対応しており、永久ライセンスまたは 1 年ごとのサブスクリプションにてご利用いただけます。

ライセンスの種類：

- ・ **O/IR 用**
O/AID-OPUS (永久ライセンス)
O/AID-OPUS-1Y (1 年間サブスクリプション)
- ・ **O/TOUCH 用**
O/AID-TOUCH (永久ライセンス)
O/AID-TOUCH-1Y (1 年間サブスクリプション)

ブルカー・ジャパン株式会社 オプティクス事業部
marketing.bopt.jp@bruker.com

bruker.com

ブルカー・オプティクスは、ISO 9001、ISO 13485、ISO 14001、ISO 50001 の認証を取得しています。

